創業社長必見! 初めて顧問弁護士を活用するときの基礎知識

目次

- 1. 弁護士の役割~税理士との違い~
- 2. 創業期における弁護士活用の具体例

Case1 契約書チェック

Case2 少額の債権回収

- 3. 弁護士の依頼方法(単発依頼と顧問契約)
- 4. 弁護士費用の相場
- 5. 格安の顧問弁護士サービスについて

弁護士の役割~税理士との違い~

税理士、弁護士、社労士等々専門家の違いが分からない



弁護士の役割~税理士との違い~



税理士 =お金の問題の専門家

↑↑ **弁護士** = 法律トラブルの解決・予防

弁護士の役割~税理士との違い~



法律トラブルを予防or裁判沙汰にせず解決

創業期における弁護士活用の具体例

Case1 契約書チェック・トラブル対応



弁護士が契約書をチェックすることによって、 気付かずに不利な条件で契約を締結する ことを防げた。

契約書をよく読んでいなかったため、契約の解約時にトラブルになった。

弁護士が交渉して解約違約金等を取られずに契約を解約できた。

Case2 少額の債権を交渉で回収



少額の未回収債権について業務の傍ら催 促していたが、なかなか支払ってくれなかった。

顧客相手に手荒に裁判をして、自社の評判等を傷つけたくない。

弁護士が対応したところ、連絡を取れなかった相手からも交渉で債権回収に成功した。

弁護士活用の具体例~最近の事例~

> 求人広告の契約トラブル



無料で求人広告を掲載しませんか?



3週間後・・・



数十万円の請求が届く

請求書

弁護士の依頼方法(単発依頼と顧問契約)

単発での依頼

=一般市民

顧問契約を締結

=経営者様

弁護士の依頼方法(単発依頼と顧問契約)



弁護士の依頼方法(単発依頼と顧問契約)

▶ 顧問契約のメリット

契約書チェックや少額の債権回収について

顧問契約を締結すれば気軽に相談できることがポイント

弁護士費用の相場

> 毎月の顧問料

月額5万円前後

※2020年2月時点



顧問弁護士を依頼するタイミングは?

